



Rotary  国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.jp/>

御殿場
ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2787回 例会プログラム

- 例会場 / YMCA 東山荘記念館
- 開会点鐘 / 6:30
- ロータリーソング / 我らの生業
- 内容 / 早朝例会 勝又立雄先生 卓話 親睦活動委員会

会員慶事

- 会員誕生日 / 5月24日 長谷川雅也君
- 結婚記念日 / 5月28日 若林 洋平君 雅美様 ご夫妻



会長挨拶

澁谷 一



本日の卓話は、小山町の勝俣教育長にお越しいただき、教育に関するお話を拝聴します。御殿場ロータリークラブは、長年に亘り青少年奉仕の一環として、小学校5年から中学2年の自分に向けての「未来への手紙」の活動を行ってきました。最近の教育事情に関するお話は、勝俣様の卓話で確認したいと思ひます。ちなみに、勝俣様は私と同じ小山町坂下区の区民で、子供も同級生と結構近い存在です。

話は変わりますが、4月13日～17日米国イリノイ州シカゴで、3年ごとに行われるRIの規定審議会の内容がメールにて配信されました。世界各地からロータリアン代表議員が集い、ロータリーの定款細則文書への変更案について投票を行いました。今回の審議会では、78の議題の内、主に以下の内容が審議されました。

- ・ 会員が国際ロータリーに支払う人頭分担金を増額 2022-2023 年間70\$, 2028-2029 年間93\$ に徐々に上がる
- ・ 新クラブの加盟に必要な会員数を15人に引き下げる
- ・ 地区大会を開催しないという選択肢を地区に与える また、通常のクラブ運営で変更になった内容について

もまとめてみました。

- ・ 現年度前期の中間財務報告を1月31日までに進行
- ・ 定款の「奉仕」を「社会奉仕」に名称変更
- ・ 会長エレクト研修セミナー (PETS) を、会長エレクトトレーニングセミナー (PELS) に名称変更
- ・ 毎年4月頃に行われる地区協議会をクラブリーダーシップラーニングセミナーに名称変更

本日は、GWを挟んでの3週間ぶりの例会になりました。皆様はこの休みをどのように過ごされたでしょうか。旅行や農作業、通常通り働いていたメンバーもいたと思います。私は、この時期は例年、近隣の草刈り、家の全窓の網戸洗いと取付、風呂の大清掃を早々に終わらせて、自分の自由時間をほぼ読書にあてています。いつもは歴史、経済、エッセイが多いのですが、今回は「未来の年表—業界大変化」という日本の各産業の未来における良い点と悪い点を予想した興味深い内容で、充実したGWを過ごしました。四国／高松の梶原様から情報があり、早速、高松西RCで新人？卓話をするようです。来週は早朝例会となりますので、気持ちの良い天気を期待したいと思ひます。



会長挨拶はこちら

5/15の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
53名	49名	45名	91.84%	100%

欠席者(4名) 神谷 高義君 勝又 博文君
勝間田太住君 根上 眞一君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

4/17のメーキャップ

- 4月8日 沼津北ロータリークラブ 鈴木榮一君
- 4月18日 北海道Eクラブ 芹澤隆博君



THE MAGIC OF ROTARY
ロータリーのマジック

次回
5月29日の
例会

- ★ YMCA 東山荘講堂
- ★ 12:30
- ★ 小山町長 込山正秀様 卓話
プログラム委員会

『学校を核とした町の繁栄と全市民のウェルビーイングを願って』



小山町教育長

勝俣 純 様

私のまち小山町は、ソサエティ3.0の前期に栄えた街です。かつて、近代日本を支える紡績工場が連なった小山中校区は、昭和39年の1175人をピークに令和6年度は全校生徒148人にまで減少しています。

近年、富士山須走口登山道や富士スピードウェイのある町として、観光産業に積極的に取り組むだけでなく、第二東名の整備による利便性を生かした企業誘致を活発に進めています。町当局はSDGsの視点を強く意識し、富士山の自然環境との調和を踏まえた開発を進めているため、子供たちにとっては、経済や産業の発展と環境保全のよりよい学びの場があるといえます。さらに、町当局と教育委員会が連携し、新たに開発するエリアに関するアイデアを中学生に求める活動をとおして、子供たち自身が、自分の町の未来を想像（創造）する体験的な学びも始まっています。また、小山町商工会とも連携し、小中学生が主体的に町のイベントに参加する機運が高まっています。

こうした体験により、愛郷心を育み、地域づくりに主体的に参加しようという気持ちの醸成が図れ、よりよいアントレプレナーシップ育成にもつながる教育を提供できています。

ところで、なぜ、部活動の地域展開が遅々として進まないのか。その理由を考えたとき、他市町はどうしているのか…とか、まだ、どこかに自分事ではない感覚がありました。人口減少や予測不能な世の中への移行は予想を超えるスピードです。

学校統合等を含めた教育政策を実施しなければ、まさに、ゆでガエル状態となり、学校や地域は衰退必至の取り返しのつかない状況になってしまいます。小山町の学校にかかわる、すべての人が主体的に自分たちのウェルビーイングを追求しようとする姿勢づくりが、一丁目一番地であるというところから、これからの小山町のすべての教育活動が始まります。小さい町だからこそその全員主役の学校運営を進めています。

また、今年度からは、町教育委員会の雇用するICT支援員を活用し、すべての先生方が、不安にならないICT活用環境を整えるなど、現時点の教育課題をきちんと整理し、学校現場の先生方が納得のいく形で、それぞれの個々が主体的に課題と向き合い、教職員一人一人の働き方改革を意識した体制づくりを目指します。

地域の核となる学校づくりについては、コミュニティ・スクール制度を存分に機能させ、地域住民や関係諸団体が、『わたしたちの学校』といえるような学校運営への参画意識がもてることを目指します。

子供にかかわる教育活動は、「子ども基本法」の基本理念を踏まえ、子供主体の活動が展開できるように、子供も教職員も願いを実現できる仕組みづくりを教育委員会は進めます。児童生徒も地域住民も教職員も、自分の町だからできることを自分たちで見つけていこうと、『考え・行動する』ことから、すべてが始まっています。



司 会
梶 喜朗君

ソングリーダー
勝亦敦志君

出席報告
柏原大地君

5/15のスマイル



5月11日、息子（次男）の結婚式があり、天気にも恵まれたので大変よかったです。

石川又英君